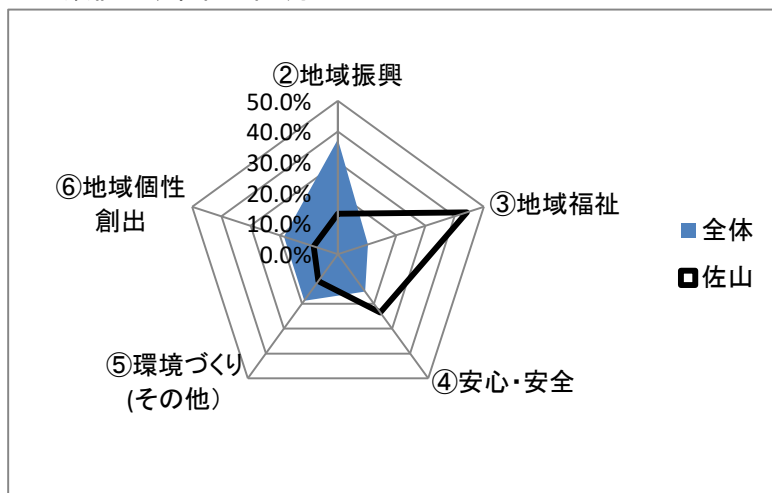


## 佐山地区地域づくり協議会 地域づくり交付金事業概要(令和2年度)

### ■地域の情報

地域人口	2,653人	自治会数	12
世帯数	1,043世帯	自治会加入率	86.6%

※数値は、令和3年4月1日のもの



### ■決算状況

交付金配分枠	9,554,000 円
交付金決算額	9,553,949 円
その他収入	35 円
交付金決算額／配分額	100.0%

### 各分野の決算

①協議会運営	3,753,549 円
②地域振興	408,750 円
③地域福祉	1,369,478 円
④安心・安全	728,058 円
⑤環境づくり(土木工事)	2,700,000 円
⑤環境づくり(その他)	335,549 円
⑥地域個性創出	258,600 円
決算総額	9,553,984 円

### ■地域づくりの活動方針(テーマ)

地域の住民や各種団体等が相互に協力・連携することにより、コミュニティ意識を高め、地域全体で課題の解決に取り組み、安心して暮らせる地域づくりを目指します。

### ■総括

今後も、行政や地域団体等と連携した事業を継続し、子どもから大人までの幅広い年齢層の交流を図り、地域の中で人と人をつなぐことで、安全安心で住みやすい地域づくりを目指します。

### ■分野別事業名

① 協議会運営	協議会及び事務局の運営
② 地域振興	地域づくり協議会だより発行事業、地域活性化交流活動推進事業、地域振興活動推進事業
③ 地域福祉	NPO法人あい・ねっと佐山支援事業、健康づくり活動推進事業、買物・病院便運行事業
④ 安心・安全	自主防災組織基盤強化事業、子ども見守り事業、交通安全対策事業
⑤ 環境づくり	土木工事(法定外公共物)、フラワーロード花壇整備事業、地域環境整備事業、ふれあいの森整備事業
⑥ 地域個性創出	日帰りバス研修事業、地域イベント開催支援事業

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	自主防災組織基盤強化事業	決算額	486,883円
	目的	自主防災組織の基盤強化を図ります。		
	実施内容	避難所となる地域交流センター(行政)と連携しながら、自主防災会本部や各地区の自主防災リーダー・自治会長を中心とした「コロナ禍における総合防災訓練」を実施し、地域内の防災意識及び防災組織力のさらなる向上を図りました。		
	実施時期	令和2年6月7日、8月30日、令和3年1月31日		
	参加人数	495人		
	成果・評価	避難所となる地域交流センター(行政)と連携し、新型コロナウイルス感染症に対応した防災避難訓練を実施することで、各地区での避難所運営(段ボールベッドや間仕切りの組み立て、非常食の作り方)や分散避難、無事旗による安否確認等を確認することができました。		
今後に向けて	今後も、自治会や行政と連携しながら、「命を守る行動」をとる避難訓練や、各地区とのトランシーバー交信訓練、災害の種類や対象者に応じた各種防災研修を継続し、地域全体の防災体制を整えます。			
②	事業名	フラワーロード花壇整備事業	決算額	266,243円
	目的	地域内の環境美化と、世代間の交流を図ります。		
	実施内容	地域のボランティア組織「フラワーロード佐山」を中心に、国道190号線沿いの花壇づくりを行いました。		
	実施時期	通年		
	参加人数	1,200人 定期(年2回の植え付け) 令和2年6月20日:21人、12月5日:44人		
	成果・評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度の花の植え付けには、子どもたちのボランティア体験や地元企業への参加協力を呼びかけることができませんでした。が、来年度に向けて、屋外研修や花壇イベントを開催するための交流拠点広場を整備することができました。		
今後に向けて	今後も、子どもたちのボランティア体験や地元企業への参加協力を継続し、地域内の環境美化と、世代間交流の場となる花壇づくりを行います。			
③	事業名	買物・病院便運行事業	決算額	829,710円
	目的	交通弱者の日常生活を支える交通手段を確保します。		
	実施内容	コミュニティタクシーと連携し、地域外(阿知須)への「買物・病院便」を週3回運行することにより、地域内の交通弱者の日常生活を支えるとともに、コミュニティタクシーのさらなる充実を図りました。		
	実施時期	週3回(月・水・金)		
	参加人数	1,229人(利用者)		
	成果・評価	これまでの「買物便」から「買物・病院便」へと運行を拡大し、コミュニティタクシーのさらなる充実を図ることができました。		
今後に向けて	今後も、コミュニティタクシーを活用した地域外への運行を継続し、交通弱者の日常生活を支える交通手段を確保します。			